

新東消防署 工事風景

○ 完成予想図



○ 令和7年（2025年）5月12日撮影 【着工前】



新東消防署の建設予定地（東区北33条東18丁目）の写真です。
東区土木センターの隣の敷地となります。

○ 令和7年（2025年）6月23日撮影 【着工前】



工事用の囲いが行われ、いよいよ工事が始まる雰囲気

○ 令和7年（2025年）7月31日撮影 【杭工事】

💡 杭工事とは 💡

杭工事とは、建物が傾かないように地盤に杭を打ち込んで、建物の重さを支える地盤改良工事のことです。



杭工事が始まりました。（※ 敷地全景をパノラマモードで撮影）



大きな重機で杭が打ち込まれていきます。

○ 令和7年8月18日撮影 【土工事】

💡 土工事とは 💡

土工事とは、建物の基礎をつくるために地面を掘り下げる工程のことです。



杭工事が終わり土工事へと移行しました！



重機を使って掘り出し、大型トラックでの搬出が始まりました。



基礎工事に向けて準備が整ってきました。

○ 令和7年9月3日撮影 【基礎配筋工事前】



○ 令和7年9月6日撮影 【基礎配筋工事】

💡 基礎配筋工事とは 💡

基礎配筋工事とは、建物の基礎部分に鉄筋を設計図通りに配置する工事で、建物の安全性と耐久性を高めるために行う工事です。



基礎配筋工事へと移行しました！



○ 令和7年9月17日撮影 【基礎型枠工事】

💡 基礎型枠工事とは 💡

基礎型枠工事とは、建物の基礎を作る工程の一部で、コンクリートを流し込むための「型」を組み立てる工事です。



○ 令和7年10月1日撮影 【鉄筋工事】

💡 鉄筋工事とは 💡

鉄筋工事とは、コンクリート構造物の中に「骨組み」となる鉄筋を入れて、建物を補強し、強度を高めるために行われる工事です。

鉄筋は、コンクリートの弱点である引張力の弱さを補い、建物の強度と耐久性に欠かせない重要な役割を担っています。



「後打ち腰壁配筋」が始まっていますね！

💡 後打ち腰壁配筋とは 💡

コンクリートを打設した後に、腰壁の内部に鉄筋を配置・補強する工法です。腰壁とは床から腰の高さまで設置される壁のことで、後から鉄筋を配筋することで、強度と耐久性を向上することができます。

○ 令和7年10月15日撮影 【スラブ配筋工事】 【外周埋め戻し】

💡 スラブ配筋とは 💡

スラブ配筋とは、鉄筋コンクリート造の床に設置する鉄筋のことです。スラブは四方を梁に囲まれており、地震などが発生した時に水平力を柱や梁に順々に伝搬させる役割があり、建物の耐震性・耐久性向上に不可欠なものになります。



緻密な配筋ですね！しっかり支えてくれそうです。

💡 外周埋め戻しとは 💡

基礎工事などが完了した後に、建物の外周部の掘削した部分に土を戻し、転圧（突き固め）して元に戻す作業のことを言います。



白枠で囲った部分が埋め戻されたところになります。

埋め戻しの際は、50cmぐらいの厚さで土を入れて締め固め、また土を入れて締め固めるという作業を繰り返します。そうすることで沈まない強固な状態を作り出します。

きれいに埋め戻されてますね。

こちら「外周埋め戻し」が始まりそうな予感です。

○ 令和7年11月6日撮影 【スラブコンクリート打設工事】 【スラブ配筋工事】

💡 スラブコンクリート打設とは 💡

鉄筋で組んだスラブ配筋にコンクリートを流し込んで鉄筋と一体化させる工事で、建物を支える重要な役割を担っています。

スラブコンクリート打設が終了した部分（ここが正面玄関になるのかな?!）



スラブ配筋工事を行っている部分（車庫になる部分かな?!）



- 令和7年11月26日撮影
【スラブコンクリート打設後のビニールシート養生】
💡 ビニールシートの役割と効果 💡

外気温が5℃以下になると打設したコンクリートが硬化不良を起こす可能性があるため、ビニールシートで覆い、ヒーターなどで内部を5℃以上にします。また、コンクリートは水分との化学反応で固まるので、シートを覆うことで乾燥を防ぎ、適切な水分量を保つことで表面のひび割れを防ぐ役割も果たしています。



ビニールシートの内部の様子

【擁壁工事】

💡 擁壁とは 💡

隣地や道路との間に高低差がある場合、土砂崩れを起こさないように支えるための構造物になります。



コンクリートを打設する準備万端です！

○ 令和7年12月5日撮影 【足場組み】

💡 足場組みとは 💡

高所での作業を安全かつ効率的に行うため、鋼管などを組み合わせて仮設の足場を作る工程になります。



基礎工事も順調に進み、足場の組立てが始まりました。（パノラマ撮影）

○ 令和7年12月17日撮影 【1階壁・柱配筋及び型枠工事】

💡 壁配筋とは 💡

建物の強度、耐久性及び耐震性を確保するため、主筋と呼ばれる縦方向の鉄筋とあばら筋と呼ばれる横方向の鉄筋を格子状に配置する重要な工事です。配筋をおこなった後、型枠をしてコンクリートを打設し、壁ができあがります。



○ 壁配筋の様子 ○

設計図に基づいて職人さんの丁寧な仕事ぶりがうかがえますね。



壁配筋が終わったところから順に型枠工事が行われています。



コンクリートの打設までもう少しです。

○ 令和8年1月16日撮影 【外部足場組み、外部足場シート張り及び上屋架け】

💡 外部足場組みとは 💡

外部足場とは、工事関係者が安全に作業できるよう、建物の外側に組み立てる足場のことを言います。建物全体を取り囲み、高さも建築物と同じ程度となります。

💡 外部足場シート張り・上屋架けとは 💡

外部足場シート張りと上屋架けとは、建築中の建物を雪などから守り、作業員の作業環境を保持すること、そして冬期間においては、コンクリート打設時の凍結を防ぎ、コンクリートの品質を確保するために行われるものです。



外部足場が組みあがり、上屋も設置されております。

現場監督さんに伺ったところ、これから建物全周にシートを張って、内部をヒーターで暖めながらコンクリートの打設を行うとのことでした。

💡 寒い中、大変ですが事故に気を付けて工事をお願いします！ 🚧

○ 令和8年1月28日撮影 【2階梁配筋】

外部足場シート及び上屋が設置されました！これで天候に左右されず工事ができますね。



【外観の様子】 とても迫力があります。

内部では多くの方々がそれぞれの持ち場で作業してます。



【1階車庫付近の様子①】



【1階車庫付近の様子②】



【上屋の様子】

良好な作業環境を保つため、所々に採光のための天窗が取り付けられています。

現場監督さんのお話によると、大きな部材を入れる際は、クレーンで吊り上げて、採光の窓を外して、中に入れるそうです。



2階部分の作業の様子です。梁配筋やスラブ配筋の作業中です。



2階部分から1階の車庫付近を撮影



【📷 オフショット 📷】

今回は東消防署長と予防課長も建築の様子を見学しました。

← 工事の進捗状況の説明を受けています。

令和8年2月25日撮影 【2階梁配筋】
引き続き2階部分の作業中です。
着々と工事が進みまもなく3階の工事がスタートします



【2階の様子①】



【2階の様子②】



【2階の様子③】

誰もが快適に利用できるよう新庁舎にはエレベーターも設置されます！